



Cisco HX Data Center インターフェイスへのログイン

- [Cisco HyperFlex クラスタ インターフェイスの概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco HX Data Platform のログイン情報のガイドライン \(2 ページ\)](#)
- [Cisco HX Data Platform の名前、パスワード、および文字 \(3 ページ\)](#)
- [Cisco HX Connect へのログイン \(6 ページ\)](#)
- [コントローラ VM \(hxcli\) コマンドラインへのログイン \(7 ページ\)](#)
- [ストレージコントローラのパスワードの変更 \(9 ページ\)](#)
- [Cisco HX Data Platform インストーラへのログイン \(10 ページ\)](#)
- [HX Data Platform REST API へのアクセス \(11 ページ\)](#)

Cisco HyperFlex クラスタ インターフェイスの概要

Cisco HyperFlex の各インターフェイスは、HX ストレージクラスタの情報にアクセスし、アクションを実行する手段を提供します。HX ストレージクラスタインターフェイスには次のものがあります。

- **Cisco HX 接続—モニタリング、パフォーマンス チャート、およびアップグレード、暗号化、レプリケーション、データストア、ノード、ディスク、および VM ReadyClone のタスクのためのものです。**
- **Cisco HX データ プラットフォーム プラグイン—モニタリング、パフォーマンス チャート、およびデータストア、ホスト(ノード)、およびディスクのタスクのためのものです。**
- **ストレージコントローラ VM コマンドライン—Cisco HX データ プラットフォーム hxcli コマンドを実行します。**
- **Cisco HyperFlex System RESTful API—オンデマンドのステートレス プロトコルにより、HyperFlex System の認証、レプリケーション、暗号化、モニタリング、および管理を可能にします。**

追加のインターフェイスには次のものが含まれます。

- Cisco HX Data Platform インストーラ—HX データ プラットフォーム のインストール、HX ストレージ クラスタ の展開および拡張、ストレッチ クラスタの展開、HYPER-V クラスタの展開。
- Cisco UCS Manager—HX ストレージ クラスタ のネットワーク、ストレージとストレージ アクセス、およびリソースの管理のタスク。
- Hyper-V Manager: すべての Hyper-V ノードと仮想マシンの管理
- Microsoft Failover Cluster Manager: フェールオーバー クラスタ ホスト、ロール、および仮想マシンの設定と管理

Cisco HX Data Platform のログイン情報のガイドライン

hxcli コマンドは、ログイン クレデンシャルを要求します。

定義済みユーザ `admin` および `root` のストレージ コントローラ VM のパスワードは、Cisco HX Data Platform インストーラの実行時に指定します。インストール後は、hxcli コマンドラインを使用してパスワードを変更できます。

コンポーネント	権限レベル	ユーザー名	パスワード	注記
HX Data Platform インストーラ VM	root	root	Cisco123 (注) システムは、デフォルトのパスワード [Cisco123] で出荷されますので、インストール中にこれを変更する必要があります。新しいユーザがパスワードを指定していない限り、インストールを続行できません。	

コンポーネント	権限レベル	ユーザー名	パスワード	注記
HX 接続	管理者または読み取り専用	Active Directory の「Desktop Users」グループのメンバー。	ユーザ定義のパスワード。	読み取り専用アクセス権。
		定義済みの admin または root ユーザ。		ドメイン管理者グループのメンバーにも、管理者アクセス権があります。
HX ストレージコントローラ VM	admin	HX のインストール中に定義されたユーザ。 定義済みの admin または root ユーザ。	HX のインストール時に指定。 強力なパスワードが必要です。	ストレージクラスタ内のすべてのノードで一致している必要があります。 インストール後、パスワードを変更するときは <code>hxcli</code> コマンドを使用します。
ハイパーバイザ	「ドメイン管理者」グループのメンバー	ユーザ定義のパスワード	HX のインストール中に指定されます。	-
UCS Manager	admin	設定どおり。	設定どおり。	-
ファブリックインターコネク	admin	設定どおり。	設定どおり。	-

Cisco HX Data Platform の名前、パスワード、および文字

ほとんどの印刷可能 ASCII 文字と拡張 ASCII 文字を名前とパスワードに使用できます。ただし一部の文字は、HX Data Platform のユーザ名、パスワード、仮想マシン名、ストレージコントローラ VM 名、およびデータストア名に使用できません。フォルダとリソースプールには、使用できない文字はありません。

ただし、名前とパスワードを簡素化するために、以下の特殊文字の使用を避けることを考慮してください。これらの文字は特別な目的に使用されることが多いためです。

アンパサンド (&)、アポストロフィ (')、アスタリスク (*)、アットマーク (@)、バックスラッシュ (\)、コロン (:)、カンマ (,)、ドル記号 (\$)、感嘆符 (!)、スラッシュ

(/)、小なり記号 (<)、大なり記号 (>)、パーセント (%)、パイプ (|)、シャープ (#)、疑問符 (?)、セミコロン (;)

特殊文字を入力するときは、使用するシェルを考慮してください。シェルによって、注意が必要な文字が異なります。名前やパスワードに特殊文字が含まれる場合は、'`spci@lword!`'のように単一引用符で囲みます。

HX ストレージ クラスタ名—HX クラスタ名は 50 文字以内です。

HX ストレージ クラスタ ホスト名—HX クラスタ ホスト名は 15 文字以内です。

仮想マシンおよびデータストア名—仮想マシン名、コントローラ VM 名、またはデータストア名には、ほとんどの文字が使用できます。エスケープされた文字を、仮想マシン名、コントローラ VM 名、またはデータストア名に使用できます。

最大文字数：仮想マシン名は、最大 15 文字です。

除外される文字：スナップショットを有効にするユーザ仮想マシン名またはデータストア名に次の文字を使用しないでください。

- アクセント (´)

特殊文字：次の特殊文字を、ユーザの仮想マシンまたはデータストア名で使用できます。

- アンパサンド (&)、アポストロフィ (')、アスタリスク (*)、アットマーク (@)、バック スラッシュ (\)、サーカムフレックス (^)、コロン (:)、カンマ (,)、ドル記号 (\$)、ドット (.)、二重引用符 (")、等号 (=)、感嘆符 (!)、スラッシュ (/)、ハイフン (-)、左波カッコ ({)、左丸カッコ (())、左角カッコ ([)、小なり記号 (<)、大なり記号 (>)、パーセント (%)、パイプ (|)、プラス記号 (+)、シャープ (#)、疑問符 (?)、右波カッコ (})、右丸カッコ ())、右角カッコ (])、セミコロン (;)、ティルダ (~)、アンダースコア (_)

ユーザ名の要件

ユーザ名として HX Data Platform のコンポーネントに固有のものを指定でき、UCS Manager のユーザ名要件を満たす必要があります。

UCS Manager ユーザ名の要件。

- 文字数：6 ～ 32 文字
- Cisco UCS Manager 内で一意である必要があります。
- 英文字から始まる必要があります。
- 含める必要がある文字：英文字（大文字または小文字）。
- 許容される文字：数字。数字だけにすることはできません。
- 許容される特殊文字：アンダースコア (_)、ダッシュ (-)、ドット (.)

コントローラ VM パスワードの要件

コントローラ VM の root ユーザ/admin ユーザのパスワードには、次の規則が適用されます。



(注) パスワードに関する一般的な規則：コマンド文字列にパスワードを含めないでください。コマンドがパスワードの入力を求めることができる状態にします。

- 最小長：10
- 最小 1 大文字
- 最小で 1 つの大文字
- 最小で 1 つの数字
- 最小で 1 つの特殊文字
- 最大 3 回の再試行で新しいパスワードを設定

コントローラ VM のパスワードを変更するには、必ず `hxcli` コマンドを使用します。Unix パスワードコマンドなどの他のパスワード変更コマンドを使用しないでください。

1. 管理コントローラ VM にログインします。
2. `hxcli security password set [-h] [--user USER]` コマンドを実行します。
変更は、HX クラスタ内のすべてのコントローラ VM に伝達されます。

UCS Manager のパスワードの形式と文字の要件

以下の項では、UCS Manager とパスワードの形式と文字の要件について簡単にまとめています。詳細については Cisco UCS Manager のマニュアルを参照してください。

- **文字クラス**：小文字、大文字、数字、特殊文字。
パスワードは大文字と小文字が区別されます。
- **文字長**：最小 6、最大 80
4 つすべての文字クラスの文字が含まれる場合は、6 文字以上が必要です。
3 つ以上の文字クラスの文字が含まれる場合は、7 文字以上が必要です。
1 つまたは 2 つの文字クラスの文字しか含まれない場合は、8 文字以上が必要です。
- **開始文字と終了文字**：パスワードの先頭の大文字またはパスワードの末尾の数字は文字数の合計に含まれません。
パスワードが大文字で始まる場合は、2 つの大文字が必要です。パスワードが数字で終わる場合は、2 つの数字が必要です。
要件を満たす例：
 - `h#56Nu`：6 文字。4 クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっていません。

- h5xj7Nu : 7 文字。3 クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっていません。
 - XhUwPcNu : 8 文字。2 クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっていません。
 - Xh#5*Nu : 6 文字としてカウントされます。4 つの文字クラス。大文字で始まっています。数字で終わっていません。
 - h#5*Nu9 : 6 文字としてカウントされます。4 つの文字クラス。大文字で始まっています。数字で終わっています。
- **連続文字数** : 最大 2。たとえば、hhh###555 は許容されません。
- **除外される文字** :
- UCS Manager のパスワードには、エスケープ (\) 文字を使用できません。

Cisco HX Connect へのログイン

Cisco HyperFlex Connect は、Cisco HX ストレージクラスタのモニタリング、およびレプリケーション、暗号化、データストア、および仮想マシンのタスクに対し、HTML 5 ベースでアクセスすることを可能にします。

セッションの概要

Cisco HX 接続 への各ログインが、1 回のセッションになります。セッションは、Cisco HX 接続にログインした時からログアウトする時までの間のアクティビティの期間です。セッション中にブラウザの Cookie を手動でオフにしないでください。それにより、セッションもドロップされるためです。ドロップした場合でも、セッションを閉じるためにブラウザを閉じないでください。そのセッションは、引き続きオープンなセッションとしてカウントされます。デフォルトのセッションの最大値は次のとおりです。

- ユーザごとに 256 の同時セッションが可能です。
- Cisco HX ストレージクラスタ 全体では、300 の同時セッションが可能です。

始める前に



重要

- 読み取り専用ユーザの場合は、ヘルプに記載されているすべてのオプションが表示されないことがあります。HX 接続 では、ほとんどのアクションの実行に管理者特権が必要です。
- ハイパーバイザ上の時間とコントローラ VM 上の時間が同期またはほぼ同期していることを確認します。ハイパーバイザの時間とクラスタの時間のずれが大きすぎると、AAA 認証は失敗します。

ステップ 1 Cisco HX ストレージクラスタの管理 IP アドレスを確認します。

個々のストレージコントローラ VM ではなく、管理 IP アドレスの完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用します。

ステップ 2 ブラウザに Cisco HX ストレージクラスタの管理 IP アドレスを入力します。

ステップ 3 Cisco HX ストレージクラスタのログインクレデンシャルを入力します。

- **RBAC ユーザ** : Cisco HyperFlex Connect は、次のロールベースのアクセス制御 (RBAC) ログインをサポートします。
 - **管理者** : 管理者ロールを持つユーザには、読み取りおよび変更操作の権限があります。これらのユーザは、次を変更できます: Cisco HX ストレージクラスタ
 - **読み取り専用** : 読み取り専用ロールを持つユーザには、読み取り (表示) 権限があります。Cisco HX ストレージクラスタに変更を加えることはできません。
- **HX 事前定義ユーザ** : Cisco HX データ プラットフォームの事前定義ユーザである admin または root を使用してログインするには、local/プレフィックスを入力します。例: local/root または local/admin。
local/ ログインで実行したアクションは、ローカルクラスタにのみ影響します。

目のアイコンをクリックすると、パスワードフィールドのテキストが表示または非表示となります。このアイコンは、他のフィールド要素によって見えにくくなる場合があります。それでも、目のアイコンの領域をクリックすると、切り替え機能は動作します。

次のタスク

- Cisco HX 接続 に表示される内容を更新するには、更新 (円形) アイコンをクリックします。これによってページが更新されない場合は、キャッシュをクリアして、ブラウザをリロードします。
- Cisco HX 接続 からログアウトして、適切にセッションを閉じるには、[ユーザ (User)] メニュー (右上) > [ログアウト (Logout)] を選択します。

コントローラ VM (hxcli) コマンドラインへのログイン

すべての hxcli コマンドは、Cisco HX クラスタ情報を読み取るコマンドと Cisco HX クラスタを変更するコマンドに分かれています。

- 変更のコマンド : 管理者レベルのアクセス許可が必要です。例 :

```
hxcli cluster create  
  
hxcli datastore create
```

- 読み取りのコマンド：管理者レベルのアクセス許可または読み取り専用レベルのアクセス許可で許可されます。例：

```
hxcli <cmd> -help
hxcli cluster info
hxcli datastore info
```

Cisco HX データ プラットフォーム hxcli コマンドを実行するには、Cisco HX Data Platform ストレージコントローラ VM コマンドラインにログインします。



重要 コマンド文字列にパスワードを含めないでください。コマンドは、プレーンテキストとしてログに頻繁に渡されます。コマンドからパスワードの入力を求められるまで待ちます。これは、ログインコマンドだけでなく hxcli コマンドにも当てはまります。

以下の方法で、ストレージコントローラ VM の Cisco HX データ プラットフォーム コマンドライン インターフェイスにログインできます。

- ブラウザから
- コマンド ターミナルから
- Cisco HX 接続 Web CLI ページから

Cisco HX Connect では直接コマンドのみサポートされます。

- 直接コマンド：1回のパスで完了し、コマンドラインを介した応答を必要としないコマンド。直接コマンドの例：hxcli cluster info
- 間接コマンド：コマンドラインを介したライブ応答を必要とするマルチレイヤのコマンド。対話型コマンドの例：hxcli cluster reregister

ステップ 1 ブラウザから、DNS 名と /cli パスを入力します。

- a) パスを入力します。

例

```
# cs002-stctlvm-a.eng.storvisor.com/cli
```

想定されるユーザ名：admin、パスワード：HX クラスタ の作成時に定義。

- b) プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。

ステップ 2 コマンドラインターミナルから ssh を使用します。

(注) ssh ログイン文字列にパスワードを含めないでください。ログインは、プレーンテキストとしてログに渡されます。

- a) ssh コマンド文字列を入力します。
- b) 証明書の警告が表示される場合があります。yes と入力して警告を無視して続行します。


```

-----
                !!! ALERT !!!
This service is restricted to authorized users only.
All activities on this system are logged. Unauthorized
access will be reported.
-----
HyperFlex StorageController 2.5(1a)# exit
logout
Connection to 10.198.3.22 closed.]$ssh root@10.198.3.24
The authenticity of host '10.198.3.24 (10.198.3.24)' can't be established.
ECDSA key fingerprint is xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx.
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)?

```

- c) プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。

```

# ssh admin@10.198.3.22
HyperFlex StorageController 2.5(1a)
admin@10.198.3.22's password:

```

ステップ 3 HX 接続 から HX 接続 にログインし [Web CLI] を選択します。

- (注) Cisco HX 接続 Web CLI からは非対話型のコマンドのみを実行できます。

ストレージコントローラのパスワードの変更

インストール後に HyperFlex ストレージコントローラのパスワードをリセットするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ストレージコントローラ VM にログインします。

ステップ 2 Cisco HyperFlex ストレージコントローラ パスワードを変更します。

```
# hxcli security password set
```

このコマンドによって、変更がストレージクラスタ内のすべてのコントローラ VM に適用されます。

- (注) 新しいコンピューティングノードを追加し、**hxcli security password set** コマンドを使用してクラスタパスワードを再設定しようとする、コンバージドノードは更新されますが、コンピューティングノードはデフォルトパスワードのままになることがあります。コンピューティングノードのパスワードを変更するには、次の手順を使用します。

コンピューティングノードでパスワードを変更するには：

1. Hyper-V ホストからすべてのユーザ VM をライブマイグレーションします。
2. Hyper-V マネージャからストレージコントローラ VM コンソールを起動し、root ユーザーとしてログインします。
3. **passwd** コマンドを実行して、パスワードを変更します。
4. ログアウトして再度ログインし、パスワードが正常に変更されたことを確認します。

5. `hxcli node add -f` コマンドを実行し、ノードをクラスタに再び追加します。

ステップ3 新しいパスワードを入力します。

ステップ4 Enter を押します。

Cisco HX Data Platform インストーラへのログイン

次に、HX データ プラットフォーム ソフトウェアをインストールします。



- (注) Cisco HX Data Platform インストーラ を起動する前に、ストレージクラスタに含める予定のクラスタにあるすべての Hyper-V ホストがメンテナンス モードであることを確認します。

ステップ1 ブラウザに、HX データ プラットフォーム インストーラ がインストールされる VM の URL を入力します。

このアドレスは、前のセクション「**HX Data Platform インストーラの展開**」で入手しています。たとえば、`http://10.64.4.254` です。

ステップ2 次のクレデンシャルを入力します。

- [ユーザ名 (Username)] : root
- パスワード (デフォルト) : Cisco123

注目 システムに同梱されているデフォルトのパスワード Cisco123 は、インストール時に変更する必要があります。新しいユーザがパスワードを指定していない限り、インストールを続行できません。

EULA を読みます。[利用規約に同意します (I accept the terms and conditions)] をクリックします。

右下隅に記載された製品バージョンが正しいことを確認します。[ログイン (Login)] をクリックします。

ステップ3 この HX データ プラットフォーム インストーラ ワークフローページには、ワークフローのオプションが 2 つ表示されます。

- [クラスタの作成] ドロップダウンリスト : 標準のクラスタ、ストレッチクラスタ、または Hyper-V クラスタを展開できます。
- クラスタ展開 — データを提供して、既存の標準的なストレージクラスタにコンバージド ノードやコンピューティング ノードを追加できます。

HX Data Platform REST API へのアクセス

Cisco HyperFlex HX シリーズ システムは、完全内包型の仮想サーバプラットフォームを通じて、コンピューティング、ストレージ、ネットワークの3つのレイヤと強力な Cisco HX Data Platform ソフトウェア ツールを結合し、シングルポイント接続による簡素化された管理を実現します。Cisco HyperFlex System は、単一の UCS 管理ドメインに HX ノードを追加することによってスケールアウトするように設計されたモジュラ システムです。ハイパーコンバージド システムはユーザのワークロード ニーズに基づいて統一されたリソースのプールを提供します。

HTTP 動詞を使用した Cisco HyperFlex System RESTful API は、HTTP 呼び出しを実行するように構成できる他のサードパーティ製の管理および監視ツールと統合されています。また、オンデマンドステートレス プロトコルを介した HyperFlex システムの認証、レプリケーション、暗号化、監視、および管理を可能にします。この API を使用すれば、外部アプリケーションを HyperFlex の管理プレーンと直接インターフェイスさせることができます。

これらのリソースには URI (Uniform Resource Identifier) を介してアクセスし、これらのリソースに対する操作は POST (作成)、GET (読み取り)、PUT (更新)、DELETE (削除) などの HTTP 動詞を使用して実行します。

REST API は、Python、JAVA、SCALA、Javascript などのさまざまな言語でクライアント ライブラリを生成することも可能な Swagger を使用して記述されます。このように生成したライブラリを使用して、HyperFlex リソースを使用するためのプログラムとスクリプトを作成できます。

HyperFlex は、組み込み REST API アクセス ツールである REST エクスプローラも備えています。このツールは、リアルタイムで HyperFlex リソースにアクセスし、応答を監視するために使用します。REST エクスプローラは、コマンドラインから実行可能な CURL コマンドも生成します。

-
- ステップ 1 ブラウザを開いて、<https://developer.cisco.com/docs/ucs-dev-center-hyperflex/> DevNet アドレスにアクセスします。
 - ステップ 2 [Login] をクリックし、必要に応じてクレデンシャルを入力します。
-

